

# アトモの広場

## SHIMANE ATOMIC INFORMATION

しまね原子力広報 2017.1

No.  
**112**

島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果  
平成28年7月から9月まで  
環境への影響は認められませんでした。

平成28年度第4回  
原子力関連施設見学会  
参加者募集

表紙イラスト:島根再発見“異国船に備えろ!「異国船の出没と松江藩の砲台」”  
※8ページの島根再発見のコーナーで紹介しています。

島根県

# 平成28年度原子力防災訓練

島根県では、万が一の原子力災害の発生に備えて、毎年、原子力防災訓練を実施しています。本年度も11月14日及び19日に実施しました。

## ①初動対応訓練 (緊急時通信連絡訓練) 14日

島根原発2号機でトラブルが発生したとの想定で、関係機関との通信連絡や島根県災害対策本部会議の運営などの訓練を行いました。



## ②避難行動要支援者 ・5km圏内避難訓練 14日

松江市鹿島地区において、一般住民の避難訓練や入院患者の搬送訓練、鹿島病院と地域密着型特別養護老人ホームあさひ乃苑では屋内退避手順の確認訓練などを行いました。



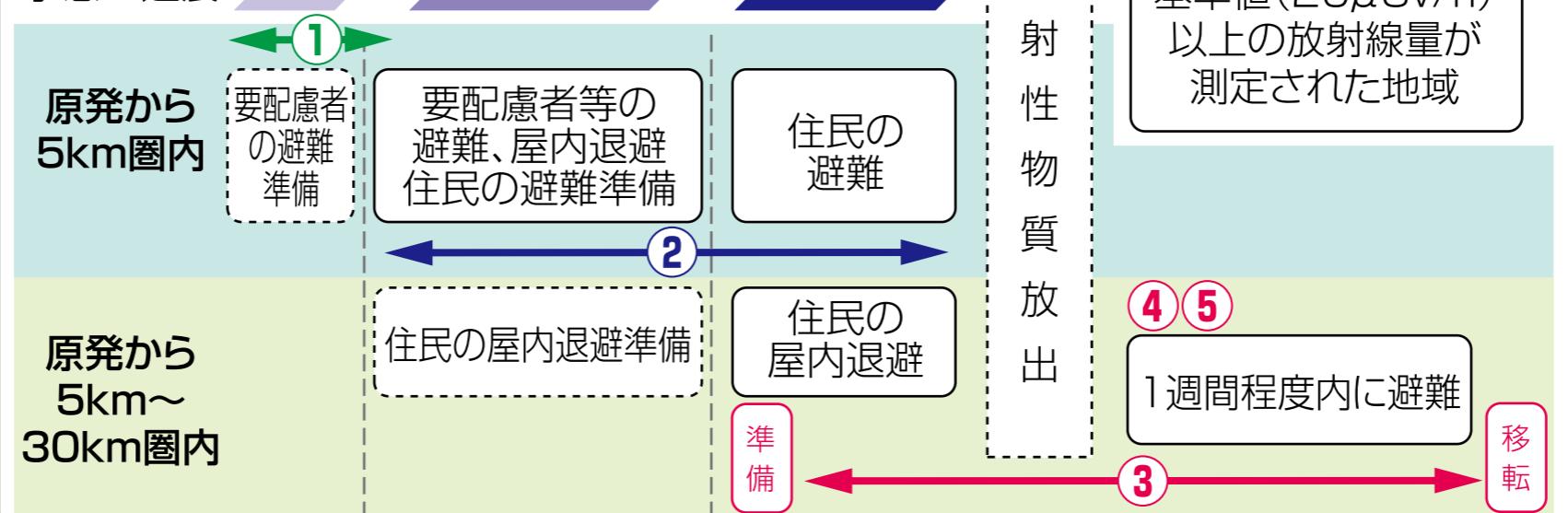
住民避難訓練



自衛隊ヘリによる入院患者(模擬)の搬送

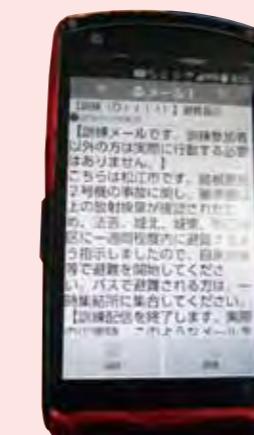
## 事態の進展に応じてとる行動

### 事態の進展



## ④緊急速報(エリア)メールによる 住民広報訓練 19日

6市(松江、出雲、安来、雲南、米子、境港)の圏内で緊急速報(エリア)メールを訓練配信し、災害時に避難情報を広報する手段等の確認訓練を行いました。



緊急速報(エリア)メールの配信

## 今年度の訓練の概要

- 実施日 平成28年11月14日(月)、19日(土)
- 主催 島根県、松江市、出雲市、安来市、雲南市、鳥取県、米子市、境港市の2県6市
- 参加者数 島根県側では86機関、約3,050名
- 重点項目 実際の検査候補地での避難退域時検査の実施  
緊急速報(エリア)メールによる住民広報の実施  
県災害対策本部機能の移転準備の実施

## ③災害対策本部機能 移転準備訓練 14日

県災害対策本部機能を出雲合同庁舎へ移転するために必要な手順の確認訓練(執務環境等の設営及び放射線防護装置稼働の手順確認)を行いました。



執務環境等の設営  
放射線防護装置稼働の手順確認

## ⑤住民避難訓練 19日

4市(松江、出雲、安来、雲南)では、住民の方に参加していただき、一時集結所から想定の避難先へ移動する住民避難訓練を行いました。

なお、避難の途中では、車両や避難される方に放射性物質が付着していないかを調べるスクリーニング検査(避難退域時検査)を実際に使用する3会場で行いました。

	参加住民数	避難訓練参加地区	避難退域時検査会場
松江市	161人	法吉地区、城北地区、城東地区、朝日地区	湖陵総合公園
出雲市	22人	遙堪地区、鵜飼地区	湖陵総合公園
安来市	62人	島田地区	中海ふれあい公園
雲南市	44人	佐世地区	さくらおろち湖周辺
計	289人		



車両検査



車両除染



住民検査

# 島根原子力発電所周辺 環境放射線等調査結果 平成28年 7月～9月

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るため、環境放射線等の調査を行っています。

アトムの広場  
SHIMANE ATOMIC INFORMATION

今期の調査結果を検討・評価したところ、環境への影響は認められませんでした。

## 空間放射線量率 (24局固定局)

原子力発電所周辺の空間放射線量率を連続監視する装置で計測し、放射性物質が周辺環境に影響を与えていないかどうかを確認しています。



### 放射線量率の異常値の基準は?

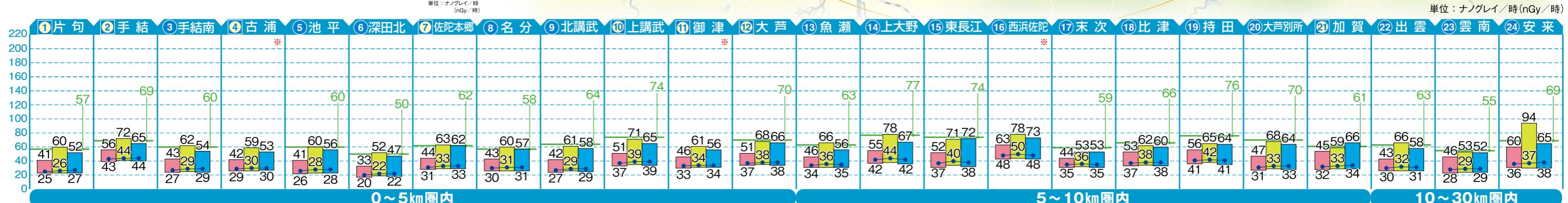


\*基準値以上の値が示された場合は、国・県・市町村の長等へ通報されることになります。

○平常の変動幅: 前年度までの5年間(新設や移設等があった場合は2年間以上)の全データを統計処理した範囲

\*平成26年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定です。

「平常の変動幅」を超える線量率が測定されましたか、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、環境への影響は認められませんでした。

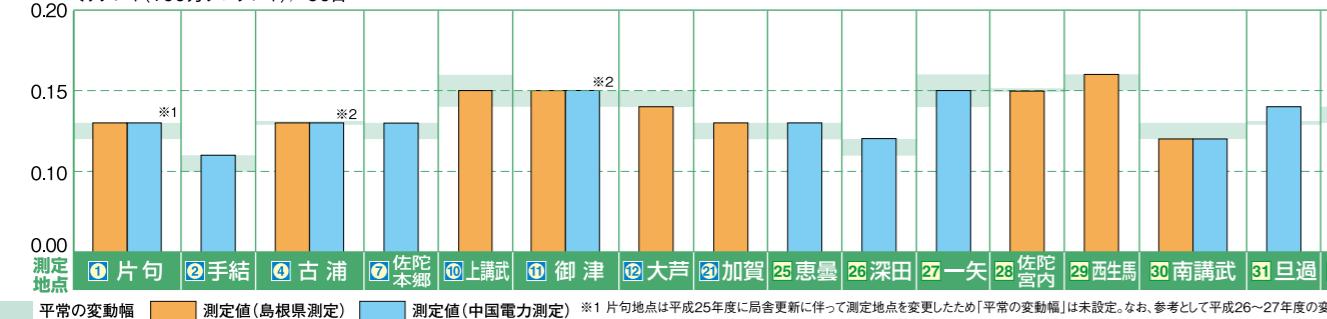


## 空間放射線積算線量 (16地点) - 各測定地点で3ヵ月にわたり測定された放射線の合計量 -

すべての地点で、平常の変動幅におさまる線量で、いずれも環境への影響は認められませんでした。

○平常の変動幅: 前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲

ミリグレイ(100万ナノグレイ)/90日



空間放射線  
率測定(常時)

モニタリング  
ポスト

2分毎の  
観測データを  
送信

島根県原子力  
環境センター

24時間  
連続監視

情報は、原子力安全対策ホームページ  
でリアルタイムに県民の  
皆さんへ公開しています。

雨や雪が降ると、なぜ  
空間放射線量が増える?

大気中に漂っている天然放射性物質が雨などと一緒に地上に降ってくるからです。ただし、時間とともに消えています。

## 環境試料中の放射能 - 農畜産物、海産生物、土壌、水、塵などに含まれる放射性物質の種類と量を測定しています -

一部の試料から過去の大気圏内核実験によるものと思われる微量の放射性物質を検出しましたが、島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

### ● ガンマ線スペクトロメーターによる分析結果 (平成28年7月～9月採取分)

試料区分	単位	測定結果	平常の変動幅( <sup>137</sup> Cs)
浮遊塵	$\mu\text{Bq}/\text{m}^3$	ND	ND
松葉	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	ND	ND
原乳	$\text{mBq}/\ell$	ND ( <sup>131</sup> I)	ND
さざえ	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	ND	0.04
むらさきいかい	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	ND	0.04
あらめ	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	0.08	ND~0.10
わかめ	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	ND	ND~0.13
ほんだわら類	$\text{Bq}/\text{kg}(表層物)$	ND	ND~0.08

### ●ストロンチウム90測定結果 (平成28年4月～6月採取分)

試料区分	単位	測定結果	平常の変動幅(Sr)
松葉	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	8.2	2.5~13
茶	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	0.27	0.19~1.5
海水	$\text{mBq}/\ell$	1.6	ND~2.6
さざえ	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	ND	ND
あらめ	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	ND	ND
わかめ	$\text{Bq}/\text{kg}(生)$	ND	ND~0.13
陸土(表層土)	$\text{Bq}/\text{kg}(風乾物)$	2.2	1.9~3.6

### ●トリチウム測定結果 (平成28年7月～9月採取分) 単位: ベクレル/ℓ

試料区分	測定結果	平常の変動幅(T)
海水(表層水)	ND	ND~0.78
※「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲です。		

※「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲です。

### ●参考 食品中の放射性セシウムの基準値\*

(平成24年4月より適用) 単位: ベクレル/kg

食品群	基準値	食品群	基準値
一般食品	100	乳製品	50
牛乳	50	飲料水	10

\*食品衛生法の規定により、食品に含有されるものであつてはならないとされる値

## 温排水調査結果 - 島根原子力発電所から放出される、温排水の環境への影響を調査しています -

今期の調査結果を検討・評価したところ、異常は認められませんでした。

期間中、1～3号機とも原子炉の稼働に伴う温排水の放出はありませんが、発電所周辺の海域における水温分布等の調査は引き続き実施しています。

## 緊急速報(エリア)メールに関するお問い合わせについて

万が一の災害などによる避難等の指示が出された場合に、地域内の住民のみなさまに避難情報などをお知らせする手段の一つとして、緊急速報(エリア)メールの配信による方法を検証しました。その中で、お問い合わせの多かった内容について詳しく紹介します。

**Q1 メールの受信ができなかった携帯電話等があったが、その原因は?**

**A1 お使いの機種やその時の状態により受信できない場合があります。**

[想定される理由]

①緊急速報(エリア)メールの対象外機種の場合

- ・サービスに対応していない機種である
- ・携帯電話等が古い  
(サービス開始以前の機種)



②対象の機種であっても、以下に該当する場合

- ・受信できない設定になっている
- ・電源を切った状態や通話中である

**Q2 仕組みはどうなっているの?**

災害・避難情報など、住民のみなさまに緊急的な情報を提供する必要がある場合に、携帯電話会社のもつサービスを利用して一定地域の方全てに情報提供が行えるよう、各自治体が各携帯電話会社と契約しています。今回の訓練ではこのサービスを活用しています。

※「緊急地震速報」の仕組み(地震波を検知して関係エリアに自動的にメール送信)とは異なります

なお、このサービスの開始時期は、携帯電話会社ごとに異なりますので、対応機種や受信設定等については、各社のホームページをご確認いただくか、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

【参考】各携帯電話会社のホームページ

事業者名	ホームページアドレス
NTTドコモ	<a href="https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/index.html">https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/index.html</a>
KDDI(au)	<a href="http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/">http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/</a>
ソフトバンク	<a href="http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/">http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/</a>

**Q3 誰もが受信できるようにするべきでは?**

**A3 緊急速報(エリア)メールは、さまざまな情報提供手段のうちの一つです。避難などの具体的な情報は、国、県、市等からテレビ、ラジオなどのマスメディア、防災無線、広報車、県や市のホームページといった様々な手段を用いて、繰り返し広報することになっています。**

住民のみなさまも、災害時にはこれらの広報に注意し、正確な情報の入手に努めていただくようお願いします。

その他にもさまざまなお意見等をいただきました。頂戴しましたご意見は今後の対策の参考とさせていただきます。

ご協力いただきましたみなさまには、改めて感謝を申し上げます。

## 島根県原子力講演会を開催しました

12月に県内3会場で、「原子力防災について」と題し、放射線の基礎知識や事故事例も含め、原子力防災についてご講演をいただきました。

[講 師] 高橋 賢臣 氏 (大阪大学安全衛生管理部 講師)

浜田会場

12月3日(土)

浜田合同庁舎  
参加者数 55名

松江会場

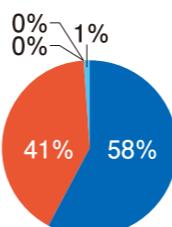
12月4日(日)

島根県民会館  
参加者数 69名

出雲会場

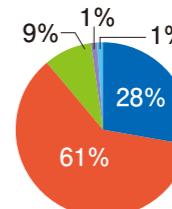
12月4日(日)

ビッグハート出雲  
参加者数 50名



講演内容のわかりやすさ

- 理解できた
- 少し理解できた
- あまり理解できなかった
- まったく理解できなかった
- 無回答



- 原子力防災についての理解度
- 非常に深かった
  - やや深かった
  - あまり深まらなかった
  - その他
  - 無回答

アンケート結果(詳細)については、原子力安全対策課ホームページで公開しています。  
[http://www.pref.shimane.lg.jp/bousai\\_info/bousai/genshiryoku/kouennkai.html](http://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/genshiryoku/kouennkai.html)

### 参加者からのお意見・ご感想の一部

- 正しい知識を基に正しく怖がることが必要と感じました。
- 知りたいことはたくさんありますが、原子力の入口に少し触れたように思います。
- 興味深い内容が多いとともに内容の構成がとても良く、集中して視聴できました。
- 正しい行動ができるために、知らないことは何でも知りたい。
- 原子力の基本について知ることができたが、福島の事例から実際の現場で起こったことや退避方法などが知りたい。

# 平成28年度 第4回 原子力関連施設見学会

参加者募集

島根県では、原子力発電についての正しい知識と、県が実施している環境放射線モニタリング等の安全対策や防災対策などについて皆さんに知っていただくため、住民の方を対象とした原子力関連施設見学会を開催します。

## ■開催日時

平成29年 3月3日(金) 9:15~15:45

## ■応募先

島根県 原子力安全対策課 見学会担当

ページ下の連絡先までご応募下さい。

●応募締切 平成29年2月15日(水)必着

なお、応募締切後参加決定の文書を郵送します。

●募集人数 50名

参加無料  
昼食付

## 【注意事項】

◎ハガキに参加を希望されるすべての方の住所、氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日、当日持参される身分証明書の種類(運転免許証、パスポート、写真付き住民基本台帳カード)をご記入の上、ご応募下さい。ハガキ1枚で複数の方の応募をされてもかまいません。なお、電話やFAX、メールでも申し込みができます。

\*電話の受付は、平日の9時~17時です。また、応募内容の個人情報は、見学会の目的以外に使用することはありません。

◎参加費は無料です。(受付場所までの交通費は参加者負担とさせていただきます。)

また、県庁にお越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。

◎昼食は県で用意し、移動は貸切バスで行います。

◎小学生以下の方は保護者同伴でお願いします。

●集合場所 :島根県原子力防災センター  
島根県庁西方向 徒歩3分、島根県職員会館北側

9:00~ 9:15

## ■見学先

●島根県原子力防災センター(松江市内中原町)

■島根県の原子力安全・防災対策について説明

■施設見学



●島根県原子力環境センター(松江市西浜佐陀町)

■原子力環境センター紹介

■放射線測定体験

■施設見学



●島根原子力発電所(松江市鹿島町片句)

■概要説明

■運転訓練シミュレータ見学

■原子力発電所構内見学  
(バス車内から)

発電所建物内部には  
入れません。



\*各施設における説明内容等は  
変更になる場合があります。

## しまね再発見 異国船に備えろ! 「異国船の出没と 松江藩の砲台」

江戸時代、幕府は鎖国令を出して外国との交易を断っていましたが、18世紀になると、松江藩でも三保関(松江市美保関町)や指海(出雲市湖陵町差海)、川下(出雲市河下町)、十六島などの沖に異国船が姿を見せるようになりました。そして享保3年(1718)には、川下港に現れた異国船を、松江藩が砲撃によって追い払ったという記録が残されています。こうした状況に危機感を覚えた松江藩第7代藩主松平治郷、つまり不昧公は、松江城内で海防の軍事訓練を行って藩士たちの士気を高めるとともに、唐船番と呼ばれる異国船対策班を組織し、海岸線沿いの見晴らしの良い場所に遠見番所を置いて警備にあたらせました。また、異国船を砲撃で追い払うため、大砲を備えた台場を18箇所、整備しました。しかしその後も全国各地に異国船がたびたび出没しており、以後の藩主たちも、台場の増設のほか、軍艦の購入や西洋流砲術の訓練、大砲や銃の製造などを行い、異国船の来襲に備えました。

寛政12年(1800)、出

雲国と石見国との国境に位  
置する田儀浦(現在の田

儀港)に唐船番が置かれ、「船乗組」という船団が組織されました。そして、田儀湾の東の手引ヶ浦の高台と、湾の西にある田儀川河口に台場が築かれ、大砲が配備されました。

出雲市多伎町の国道9号沿い、JR田儀駅の西400mの日本海側には、「手引ヶ浦台場公園」が整備され、この高台にあった台場が復元されています。実際の場所は現在の場所よりもやや西にあったとされており、また大砲は、下関市や新潟市に模型として残されている大砲を参考に復元されたのですが、当時の様子をうかがい知ることができます。

この見晴らしのいい台場で、当時の人々は、どのような思いで異国人の船を見ていたのでしょうか。



手引ヶ浦台場公園・田儀台場を復元したもの。  
実際の台場はこれよりやや西にあったとされる。

**アトムの広場**  
SHIMANE ATOMIC INFORMATION  
しまね原子力広報 2017.1

「アトムの広場」に関するご意見・ご感想等がありましたら、  
島根県原子力安全対策課までお寄せ下さい。

編集  
発行

※島根県 防災部 原子力安全対策課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

TEL(0852)22-6521

FAX(0852)22-5930

URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/genan/>

E-mail gen-an@pref.shimane.lg.jp

2017年1月発行

※平成28年度広報・調査等交付金事業により作成しました。



この印刷物は環境に優しい  
ペジタルインクを使用しています。